

第6期みやぎ観光戦略プランにおける気仙沼・本吉圏域の施策の方向

中間案（前回）	最終案（今回）
<p>気仙沼・本吉圏域（気仙沼市、南三陸町）</p> <p>～～観て、食べて、感じて しおかぜ育む三陸の魅力を再発見～～</p> <p>気仙沼・本吉圏域の概要</p> <p>気仙沼・本吉圏域は、県北東端に位置し南北約50kmと縦に長い形状となっている。沿岸部はリアス海岸の特徴的な地形をしており、半島や複雑な入り江など変化に富んだ海岸線が風光明媚な景観を形成し、三陸復興国立公園に指定されている。</p> <p>三陸沖の豊かな漁場に恵まれ、カツオ、メカジキ、カキ、タコなど1年を通して様々な魚介類が水揚げされるほか、フカヒレ、塩辛、メカブなどの水産加工品の産地としても有名である。</p> <p>東日本大震災により甚大な被害を受けたが、復興の過程で得られた人と人とのつながりを活かし、関係人口の創出や地域のブランド化を図るなど、新しいまちづくりを推進している。</p> <p>管内人口は、73,372人（令和2年国勢調査）で、<u>前回平成27年国勢調査と比較して3,986人減少し、減少率は5.15%となっている。これは、県全体同値の1.37%を大きく上回っている。</u></p> <p>圏域の観光の現状・課題</p> <p>① 多様なニーズに対応した観光コンテンツの更なる磨上げ</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生により大きく落ち込んだ観光客数は、着実に回復しているものの、旅行スタイルの変化等により団体旅行は減少している。そのため、当圏域ならではの自然・食・歴史などの観光資源の磨上げを図りつつ、多様な観光コンテンツの造成や既存コンテンツの見直し、スポーツツーリズムの推進のための各種大会や集客力の高いイベント等の誘致が必要となっている。</p> <p>② 周遊性や滞留性の向上</p> <p>三陸沿岸道路の全線開通等により、車による圏域へのアクセスが大幅に向上している一方で、日帰りする観光客の割合が高くなっていることから、<u>圏域周遊や長時間滞在を促すための工夫並びに観光消費額の向上に資する取組が必要となっている。</u></p> <p>③ インバウンドの誘客拡大</p> <p>インバウンドの宿泊者数は依然として低調であるが、みちのく潮風トレイルが海外誌の記事で紹介されるなど注目度が高まっており、インバウンド向け観光コンテンツの磨上げ等が求められている。</p> <p>圏域の施策の方向性及び取組</p> <p><計画期間で対応が必要な取組></p> <p>① 特色ある観光コンテンツづくりと更なる磨上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海産物をはじめとする地域の食を大きなテーマとした「ガストロノミーツーリズム」や、<u>ビーガン・ハラルメニュー</u>の開発による新たな観光コンテンツの造成 ○ トレイルやマリンスポーツ、化石発掘体験、キャンプなどのアクティビティや、自然・異文化体験を要素とした「アドベンチャーツーリズム」推進による当圏域ならではの多様な観光コンテンツの造成及び既存コンテンツの磨上げ ○ 震災・防災教育を活かした教育旅行や企業研修、集客性の高いイベント等の誘致の推進 	<p>気仙沼・本吉圏域（気仙沼市、南三陸町）</p> <p>～～観て、食べて、感じて しおかぜ育む三陸の魅力を再発見～～</p> <p>気仙沼・本吉圏域の概要</p> <p>気仙沼・本吉圏域は、県北東端に位置し南北約50kmと縦に長い形状となっている。沿岸部はリアス海岸の特徴的な地形をしており、半島や複雑な入り江など変化に富んだ海岸線が風光明媚な景観を形成し、三陸復興国立公園に指定されている。</p> <p>三陸沖の豊かな漁場に恵まれ、カツオ、メカジキ、カキ、タコなど1年を通して様々な魚介類が水揚げされるほか、フカヒレ、塩辛、メカブなどの水産加工品の産地としても有名である。</p> <p>東日本大震災により甚大な被害を受けたが、復興の過程で得られた人と人とのつながりを活かし、関係人口の創出や地域のブランド化を図るなど、新しいまちづくりを推進している。</p> <p>管内人口は、67,970人（令和6年4月1日現在宮城県推計人口）で、<u>令和3年4月1日と比較して4,566人減少し、減少率は6.30%となっている。これは、県全体同値の1.89%を大きく上回っている。</u></p> <p>圏域の観光の現状・課題</p> <p>① 多様なニーズに対応した観光コンテンツの更なる磨上げ</p> <p>新型コロナウイルス感染症の発生により大きく落ち込んだ観光客数は、着実に回復しているものの、旅行スタイルの変化等により団体旅行は減少している。そのため、当圏域ならではの自然・食・歴史などの観光資源の磨上げを図りつつ、多様な観光コンテンツの造成や既存コンテンツの見直し、スポーツツーリズムの推進のための各種大会や集客力の高いイベント等の誘致が必要となっている。</p> <p>② 周遊性や滞留性の向上</p> <p>三陸沿岸道路の全線開通等により、車による圏域へのアクセスが大幅に向上している一方で、日帰りする観光客の割合が高くなっていることから、<u>観光事業者の収益向上につなげるため、観光消費額の増加に資する圏域周遊や長時間滞在を促す取組が必要となっている。</u></p> <p>③ インバウンドの誘客拡大</p> <p>インバウンドの宿泊者数は依然として低調であるが、みちのく潮風トレイルが海外誌の記事で紹介されるなど注目度が高まっており、インバウンド向け観光コンテンツの磨上げ等が求められている。</p> <p>圏域の施策の方向性及び取組</p> <p><計画期間で対応が必要な取組></p> <p>① 特色ある観光コンテンツづくりと更なる磨上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 海産物をはじめとする地域の食を大きなテーマとした「ガストロノミーツーリズム」や、<u>ヴィーガン・ハラルメニュー</u>の開発による新たな観光コンテンツの造成 ○ トレイルやマリンスポーツ、化石発掘体験、キャンプなどのアクティビティや、自然・異文化体験を要素とした「アドベンチャーツーリズム」推進による当圏域ならではの多様な観光コンテンツの造成及び既存コンテンツの磨上げ ○ 震災・防災教育を活かした教育旅行や企業研修、集客性の高いイベント等の誘致の推進

② 滞留性や周遊性を向上させるためのプロモーション等の実施

- 気嵐や星空観測、魚市場見学や酒蔵・ワイナリー見学など、当圏域ならではの夜間・早朝、飲食等のイベントを組み込んだ、宿泊観光客増加のためのツアーづくり
- 令和7年度に完成予定の亀山モノレールや、既に多くの来客がある南三陸さんさん商店街、道の駅等、各観光スポットを巡る旅行商品の造成による周遊性の向上
- 他県・他圏域と連携した震災遺構や映画の聖地巡礼等、ストーリー性、テーマ性を活かした観光プロモーションの実施
- 圏域内での周遊性を高めるための二次交通、接続交通の検討

③ インバウンドの受入環境の整備等

- 宿泊施設や観光施設における観光案内板の整備など、多言語化のハード面での支援
- DMO等との連携によるタイムリーな情報発信（多言語）や掲示物等の翻訳など、ソフト面での支援
- 「みちのく潮風トレイル」や、「宮城オルレ」等のアウトドアコンテンツを活かしたインバウンド向け旅行商品の造成及び通訳ガイドの育成

特色ある観光コンテンツ



宮城オルレ・みちのく潮風トレイル
(気仙沼市・南三陸町)



中橋と311メモリアル
(南三陸町)



かつおや南三陸サーモン
(気仙沼市・南三陸町)

② 滞留性や周遊性を向上させるためのプロモーション等の実施

- 気嵐や星空観測、魚市場見学や酒蔵・ワイナリー見学など、当圏域ならではの夜間・早朝、飲食等のイベントを組み込んだ、宿泊観光客増加のためのツアーづくり
- 令和7年度以降に完成予定の亀山モノレールや、既に多くの来客がある南三陸さんさん商店街、道の駅等、各観光スポットを巡る旅行商品の造成による周遊性の向上
- 他県・他圏域と連携した震災遺構や映画の聖地巡礼等、ストーリー性、テーマ性を活かした観光プロモーションの実施
- 圏域内での周遊性を高めるための二次交通、接続交通の検討

③ インバウンドの受入環境の整備等

- 宿泊施設や観光施設における観光案内板の整備など、多言語化のハード面での支援
- DMO等との連携によるタイムリーな情報発信（多言語）や掲示物等の翻訳など、ソフト面での支援
- 「みちのく潮風トレイル」や、「宮城オルレ」等のアウトドアコンテンツを活かしたインバウンド向け旅行商品の造成及び通訳ガイドの育成

特色ある観光コンテンツ



宮城オルレ・みちのく潮風トレイル
(気仙沼市・南三陸町)



中橋と311メモリアル
(南三陸町)



かつおや南三陸サーモン
(気仙沼市・南三陸町)

三陸ジオパークの絶景や四季折々の草花など、見どころが多い「宮城オルレ気仙沼・唐桑コース」。青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐ「みちのく潮風トレイル」。気仙沼市から南三陸町を縦断し、リアス海岸と交通の道として栄えた三陸浜街道を堪能させてくれる。

震災の記憶と教訓を次世代へ伝える場所として整備された「南三陸町震災復興祈念公園」。この祈りの場所とさんさん商店街を繋ぐ「中橋」と「南三陸311メモリアル」は復興のシンボルとして、夜にライトアップされ幻想的な姿を見せてくれる。

生鮮カツオ水揚げ量の連続日本一が続く気仙沼と、銀鮭養殖発祥の地と言われる南三陸。その他にも、多くの海産物が楽しめる。季節によって異なる食材と、地元の日本酒やワイン、地ビールなど、最高のマリージュを堪能させてくれる。